

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

非凡な現場を作ることによって会社は強くなる 遠藤 功 (早稲田大学ビジネススクール教授)

1. トヨタ自動車を見れば確かに現場は強い。トヨタに憧れてトヨタ方式を採用する企業は多いが、必ずしもうまくいってない。日本企業の現場で本当に強いなら、日本経済が 20 数年も停滞したはずはない。現場はむしろ劣化している。その理由は、企業は、耐え忍ぶ環境の中で、外部に切り出してはいけない業務まで外注に頼るようになり、正規雇用を非正規雇用に切り替えた。さらに世代交代が進み、組織の中で引き継ぐべきノウハウが消失した。
2. 今の現場が昔と様変わりしていることを、理解していない経営者が多い印象がある。現場は疲弊しつつも、ギリギリのところで耐えて何とか頑張っている。かつて優秀だった現場が平凡以下になっているならばそれはマネジメントの責任だ。現場改善に取り組む企業もあるが、巧拙に大きな違いがある。
3. 非凡な現場を作るといってトップの方針が明確になれば、現場も真剣になる。非凡なリーダーのおかげで成長する会社もあるが、非凡な現場を作ることでも会社は強くなる。そのためには、特定の「誰」が言うからやるのではなく、「何々」を大切にするためやるのだという姿勢を現場に意識させることが必要だ。

(参考:「日経ビジネス」2015 年 1 月 12 日号)

人事・労務について

おかゆになるな、おにぎりの米粒になれ

童門 冬二 (作家)

1. 企業や公共団体の新職員には次の話しをする。一つは、「グローカリズム」の認識を持ってほしいということ、グローバルとローカルの合成語である。歴史人でこの説を唱えたのは、佐久間象山だ。「外国を日本から逐うには戦争を覚悟しなければならない。そのためにはまず開国し、相手国と交流してその実態を知る必要がある」と、いわば便宜的開国論を唱えた。優れた外国の科学知識や技術を導入することは必要だが、日本人のスピリットを失うなということだ。
2. 次に若い人に告げるのは、「おかゆになるな。おにぎりの米粒になれ」ということだ。社会のあしき論理にクタクタに煮られて自分を失ったのがおかゆだ。おにぎりの米粒は握られていてもきちんと自己の存在を主張している。つねに属する家庭・組織に責任を持ってその座を占めるという帰属意識と責務感を持つということである。(参考:「週刊東洋経済」:2015 年 1 月 24 日号)

経営者のための経済学

原油価格の低下で貿易赤字が減少

野口悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 貿易収支を中期的に見ると、2002 年～2007 年ごろの 10 兆円程度の黒字から、2013 年、2014 年の 10 兆円を超える赤字へと、20 兆円以上悪化した。経済全体の総需要が、これだけ減少したわけだ。最近の状況を見ると、貿易赤字は対前年比で減少している。2014 年 12 月の貿易赤字は 0.7 兆円だったが、これは前年同月の 49.5%と、半分以下の水準だ。こうなった最大の要因は原油輸入額の減少だ。
2. この傾向は今後も続くと考えられる。原油価格低下の影響は、まだ完全には輸入価格に反映されていない。今後さらに低下するだろう。仮に為替レートが今後変化せず、輸入数量も不変とすれば、原油・粗油の輸入額は、2014 年の 13.9 兆円から 7 兆円近く減少する可能性がある。これは、貿易収支の赤字を大きく減少させるだろう。ただし貿易収支が黒字化することはないと考えられる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2015 年 2 月 14 日号)

古典に学ぶ

朝三暮四

(解説) 宗の国に、狙公 (猿おじさん) という男がいた。猿が好きでたくさん飼っていた。猿の気持もよくわかるし、猿もまた狙公になついていた。狙公は家族の口かずまで減らして猿に食わせていたが、しだいに貧乏になってしまい、えさの栗を減らそうとした。一計を案じた。「朝は三つ、夕方は四つずつだぞ。こういふと、猿どもはみなおこった。「では、朝に四つ、夕方に三つならどうだ」。案の定、猿はみなよろこんだ。知恵のある者は知恵のない者をこの手でまるめこむ。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)